

「選択の力」

今日我々は様々な場面で選択をしなければなりません。皆さんも飲食、服装、学習、趣味など日々の様々な選択以外に、高校三年間で友人、部活動、コース、ゼミ、進路などと人生に関わる重要な選択を迫られます。

この選択に関して探究をしているシーナ・アイエンガーという研究者について紹介します。彼女はインド系アメリカ人で全盲の学者でアメリカのトップ校の一つであるコロンビア大学の看板教授です。プロフィールもさることながら、「ジャムの法則」(選択肢が多すぎると人は選べなくなる)という心理学法則を発見したことで世界に知られています。

日本でも2010年代前半に様々なメディアで取り上げられいまだに人気を博しています。私も当時主著の『選択の科学』(文春文庫2010/14)を読んで、随分影響を受けました。その中で特に印象に残って座右の銘としている言葉があります。



「人は自分がわかっているから選択するのではなく、選択を繰り返すことで自分を知る。」

我々は自分の好き嫌いや性格がわかっていて、それに基づいて選択をしているのだと考えがちです。しかし、その結果が思わしくなかったり、他者の選択が気になったりして自分の選択を後悔するという経験は誰にでも1度はあります。そんな時に、この言葉は「選択することの大切さ」を我々に改めて気づかせてくれます。なぜなら、失敗をおそれ現状にしがみつき選択を回避する(先延ばしにする)ことは、いつまでも自分を理解することができないからです。

大切なことは、「**人生は試行錯誤を繰り返しながら成長し自分の人格を育てていく過程だ**」ということではないでしょうか。冒頭に挙げた高校三年間の様々な選択に真摯に前向きに合い、豊かな人生を実現しましょう。
(文責：今井)

♪ 進路 NEWS ♪

成長につなげるために

1年生	2年生	3年生
6月27日 ベネッセ総合学力テスト(記述式)	6月27日 ベネッセ総合学力テスト(記述式)	6月27日 進研総合記述模試

いよいよ明日、全学年で模試が実施されます。

前回も記しましたが模試は「全国規模の練習試合」とも言い換えられます。全国の同級生と同じ問題に挑戦し、自分の現在地を知る大切な機会となります。

1年生は初挑戦。まずは最後までやり抜くことを大切に。落ち着いて取り組みましょう

2年生は成長の確認。前回より一歩前へ。前回との違いを意識しましょう。

3年生は進路実現に直結します。結果と向き合う覚悟を。最大限の力を出しましょう。

模試は「受けて終わり」ではありません。

終わった後に、

- ・何ができて、何ができなかったのか
- ・これから何をどのように勉強していくのか

を考えることが、最も重要です。

結果をもとに、これからの学習につなげましょう。気を抜かず、しっかり準備して臨んでください。

(文責：若山)

♪ 探究の窓 ♪

視野が開けるとき(1年生)

1年生の探究は、現在バイアスについて学んでいます。自分が当たり前だと思っている「常識」が他の人や立場が変われば当然ではなくなる…。これを見つけることが学問を始める入口であり、醍醐味でもあります。しかしだからこそ、「当たり前を疑う」のは難しいのかもしれませんが。今回はバイアスを含め、「探究するための糸口」ということについて書きます。

私は本を読むのが好きですが、色々な研究者の本の後書きを読んでいると「様々な経験を積み重ねる中で、ふと思った疑問がその後の研究につながった」という話をよく目にします。研究室にこもって資料を読みふけるだけでは研究を進める糸口はつかめず、偶然の出会いからきっかけが見つかるというのは、大変示唆的な話だと思いませんか。自分の関心がある分野とはまったく異なる分野の学問の方法が似通っていたり、思考の過程で通じるものがあったりするというのは。私が出会ってきた人にも、話をして深みが感じられる人は、自分が重ねた経験から視野を広げている人が多いと感じています。

この話は、今探究活動を行っている皆さんにも当てはまると思いませんか。思考を深めるためには様々な経験をして、その中から自分の答えにつながるものを見つけ出すことが大切です。勉強、部活、家庭でのことなど色々なことに追われて忙しいと思いますが、友達や家族と一緒にする経験を大切にしてください。高校生として過ごせるのは今の時間しかありません。友達と遊びにいった時や旅行に行った時、普段通学する際に電車の中で見ている景色、あるいは自分から進んで何かに挑戦する時など、普段の生活の中の経験をこれからの探究に生かして行ってほしいです。(文責：梅村)

♪ 学年の窓 ♪

前期中間考查が終わって(3年生)

3年生時の仮評定が決まる大切な前期中間考查が終了しました。結果はもちろん、中間考查に臨むまでの過程を振り返ったとき、「自分は全力でやりきった」と言えますか？しばしば言われることですが、高校生の望まれる学習時間1年生は2時間、2年生は3時間、3年生は4時間とされています。これはあくまで通常の時間であり、テスト前ではさらに増加し、平日は6～8時間、休日は8時間～12時間くらいはできたのではないのでしょうか？今一度問います。中間考查に向けて全力でやり切ることはできましたか？人生にはいくつか節目があり、場合によってはその時の取り組みや成果でその後の人生の方向性が変わってしまうことがあります。今回の考查もその1つであったのかもしれませんが。日頃から地道に努力することが大切なのはもちろん、ここぞという、勝負すべき時に全力で取り組むことができれば夢を実現させることは難しい。各自が自分の進路決定に向けて最大の努力をしていくことを望みます。

さて夏の三者懇談が近づいてきています。言うまでもないことですが、君たちの進路が話題の中心となります。これまでも十分に考えてきたとは思いますが、自分を見つめ、自分の希望と、適性をよく考え決定してってください。全統模試の結果を見て、第一志望を諦めようとしている人がいるのかもしれませんが、まだ早い！早すぎます！！君たちはまだ基礎が固まっていません。個々の学力にもよりますが、受験生の成績が上がり始めるのは早くても基礎が固まり始める11月頃からです。地道な努力を重ね、基礎が定着していけば $y=ax^2$ ($a>0, x>0$) のグラフのようにきっと成績は上がります。自分を信じ、強い心で邁進してください。進路決定は大きな悩みでもあるでしょう。しかし悩めるのは人生で今この時期だけなのです。大いに悩みましょう。(文責：岩島)